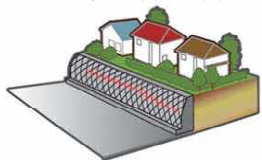


#### 4 宅地災害の前兆を見極めるためのチェックポイント

宅地における被害を防ぐ・減らすためには、宅地を所有される皆様が、日頃からご自身の宅地や擁壁に目を配り、点検しておくことが大切です。以下のチェックポイントを参考に点検することで、滑動崩落などの宅地災害の前兆となりうる異常を発見することができます。

○擁壁の長い区間で変状(長い亀裂やハラミ出し)が見られる。



長い亀裂

(提供:社団法人 全国宅地擁壁技術協会)



擁壁下端のハラミ出し

○擁壁がいつも水のしみ出しにより濡れている、コケが生えている。



水がしみだしている擁壁

(提供:社団法人 全国宅地擁壁技術協会)



湧水部分にコケが生えている擁壁

国土交通省「わが家の宅地安全マニュアル 滑動崩落編」

ほかにも、国土交通省がインターネットで公開しているパンフレット等には、より詳しい情報がありますので、必要に応じてご覧ください。

国土交通省 宅地防災トップ

<http://www.mlit.go.jp/crd/web/index.html>

国土交通省 宅地防災パンフレット等

<http://www.mlit.go.jp/crd/pamphlet.html>

#### 5 大規模盛土造成地に関する Q&A

##### Q マップ公表の目的は何ですか？

A このマップは、身近にある大規模盛土造成地を知ることで、市民の皆様に、宅地災害に対する意識を高めていただくことを目的としています。

##### Q このマップに載っている場所だけが危険で、それ以外の場所は安全ということですか？

A 今回公表したマップは、造成前後の地形データを重ね合わせて、大規模盛土造成地のおおよその位置と規模を示したものです。必ずしも、マップに載っている場所が危険で、それ以外の場所が安全というわけではありません。

##### Q 大規模盛土造成地に入っていると、土地利用の制限があったり、土地取引の時に特別な手続きが必要になるのでしょうか？

A 大規模盛土造成地に入っていることによって、土地利用に制限があったり、土地取引において特別な手続きが必要になることはありません。

##### Q 平成28年熊本地震で滑動崩落が発生しなかった場所は今後も安全でしょうか？

A 時間の経過により盛土内部や擁壁等の施設も老朽化していきますし、地震ごとに震源・規模も異なります。熊本地震で滑動崩落が発生しなかったからといって、今後も絶対に安全というわけではありません。



熊本市 都市建設局 都市政策部 都市安全課  
電話:096-328-2966

平成31年3月作成

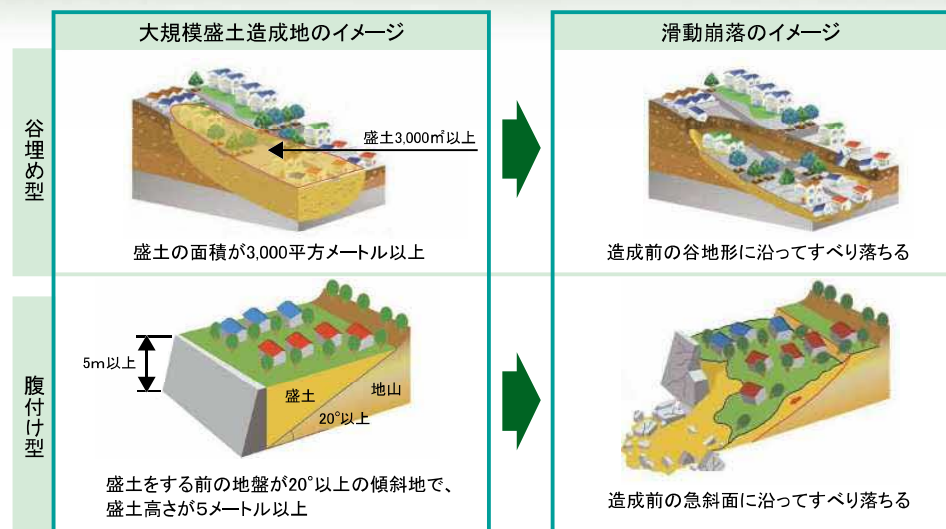
# 熊本市大規模盛土造成地マップ

## 大規模盛土造成地マップとは

新潟県中越地震や東北地方太平洋沖地震、平成28年熊本地震において、大規模に盛土された造成宅地の滑動崩落が発生しました。

今回、熊本市では、市民の皆様に身近にある大規模盛土造成地を知っていただくため、国土交通省のガイドライン等に基づき、市内に存在する大規模盛土造成地のおおよその位置と規模を調査し、マップを作成しました。

## 1 大規模盛土造成地と滑動崩落のイメージ



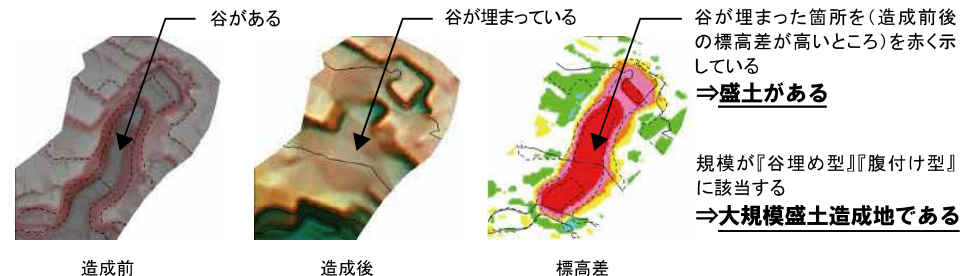
※図の出典:国土交通省「大規模盛土造成地の滑動崩落対策推進ガイドライン及び同解説」

## 2 大規模盛土造成地の抽出方法

造成前後の地形データを重ね合わせて、造成後の地盤の高さが造成前より高くなっている(盛土されている)ところを探しました。その後、面積や高さなど、盛土の規模が大規模盛土造成地に該当する箇所を抽出しました。

造成前の地形データは、昭和37年と昭和42年の空中写真から作成しました。造成後の地形データは、平成28年～平成30年のものを使用しました。

ただし、宅地ではないゴルフ場やグラウンドなどは抽出していません。



谷が埋まった箇所を(造成前後の標高差が高いところ)を赤く示している  
⇒盛土がある

規模が『谷埋め型』『腹付け型』に該当する  
⇒大規模盛土造成地である